

第 8 期てだこ環境調査団 調査報告

1. てだこ環境調査団の目的

てだこ環境調査は、市民自らが中心となって環境調査を行い、調査地域の環境の理解を深めることを目的としています。また、専門スタッフの指導・支援のもと、市民自らが“環境を見る目”を養うことで、環境保全活動に対する意欲の増進を図ることも期待しています。

2. 第 1 回海洋プラスチックごみ調査・生き物観察会について

○日時・場所

令和元年 11 月 24 日（土）9：00～12：00

カーミージー（空寿崎）周辺の海岸

○参加者

15 組（小学生及びその保護者）

●第一部 海洋プラスチックごみ調査

○調査内容

海洋プラスチックごみ、特にマイクロプラスチック（5mm以下のプラスチック）ごみの採取・種類を記録し、カーミージー（空寿崎）にもプラスチックごみが存在することを学習しました。

○調査結果

カーミージーで採取した海洋プラスチックごみは 5mm より大きいごみでは、プラスチックごみが 6 種類（全体の 54.5%）、16 個（同、42.1%）で、5mm 以下のごみでは、プラスチックごみが 6 種類（全体の 60.0%）、22 個（同、75.9%）でした。5mm 以下のごみでは、プラスチックごみの割合が高い傾向がみられました。

錆びた鉄、釣り糸、ガラスの 3 種は 5mm より大きいごみでのみ確認されました。一方、紙のごみは 5mm 以下のごみでのみ確認されました。

5mm より大きいごみ		5mm 以下のごみ	
プラスチックごみ	プラスチック以外のごみ	プラスチックごみ	プラスチック以外のごみ
6 種類	5 種類	6 種類	4 種類
16 個	22 個	22 個	7 個



写真① プラスチックごみの説明



写真② 採取の方法について



写真③・④ 親子でのプラスチックごみの採取



写真⑤ カーミーの砂浜から回収されたごみ

● 第二部 生きもの観察会

○ 調査内容：干潮時のタイドプール（潮溜まり）にて生物の観察を行った。



写真①～④ 生きもの観察会の様子

4. 集合写真

てだこ環境調査団にご参加いただき、ありがとうございました。



第8回 海洋プラスチックごみ調査 集合写真